

## ○熟年者が主体となっている活動の事例

熟年者施策における協働の事例をご紹介します。まず、「くすのきクラブ」があります。江戸川区は、くすのきを区の樹木としています。「くすのきクラブ」は、60歳以上の熟年者を対象に、地域で相互の交流促進を図るために自主的に結成された組織です。江戸川区では、「老人クラブ」という言い方をしないで、「くすのきクラブ」と言います。クラブ数は207、都内で第2位です。登録会員数は1万9,202人で、都内で最多です。江戸川区では、65歳以上の方は現在12万を超えていますけれど、要介護の認定を受けている方が13%いますから、それらの方を除いても、このクラブ数と会員数はかなりの組織率です。「くすのきクラブ」は、清掃・リサイクル、ふれあい・友愛、見守り、安全パトロール等の活動を行っています。

### くすのきクラブ（1958年～）

- 60歳以上の熟年者を対象に、地域社会の中で、相互の交流促進を図るために自主的に結成された組織。
- 活動の4本柱として、①ボランティア ②教養向上 ③娯楽 ④健康増進活動を実施している。

<クラブ数>

207クラブ（東京都内で第2位）

<会員数>

19,202人（東京都内で最多）



### くすのきクラブの実績（平成22年度）

活動内容	実施回数	月平均回数	参加人数	月平均人数
清掃・リサイクル	4,941回	412回	30,944人	2,579人
ふれあい・友愛	1,178回	98回	2,749人	230人
見守り	5,309回	442回	20,166人	1,681人
安全パトロール	1,321回	110回	4,315人	360人
その他ボランティア	2,937回	245回	24,521人	2,043人

もう1つ、江戸川区で代表的なものに「リズム運動」があります。熟年者の健康の保持、仲間づくりのために、社交ダンス（マンボ・ルンバ等）を独自にアレンジした軽運動で、江戸川区のみで実施しています。

### リズム運動（1980年～）

- 熟年者の健康の保持、仲間づくりのために、社交ダンス（マンボ・ルンバ等）を独自にアレンジした軽運動。江戸川区のみで実施。
- 区との役割分担のもと、地域のくすのきクラブを中心に自主的な運営を行う。

<参加団体数> 238団体

<参加者数> 10,250人

<実施会場数> 202会場

<年間実施回数> 8,000回超



### リズム運動の実施体制（役割分担）

- リズム運動指導員（有償ボランティア）の協力のもと、区民（実施団体）と地域、そして行政との間で適切な役割分担による協働。

<区の役割>

- ・リズム運動指導員の派遣
- ・リズム運動大会や初心者教室の開催

<区民（団体）の役割>

- ・会場の確保及び会場の鍵の管理
- ・当日の運営（準備及び片付け）
- ・リズム運動地区交流会の開催

<地域の役割>

- ・会場の提供



さらにもう1つは、熟年者によるボランティア活動です。先ほど、社会参加活動事例として内閣府から表彰を受けた「江戸川シニアパソコン・ネットワーククラブ」もその1つで、自分たちが熟年者にパソコンを教えていこうというグループです。会員数は387人、平均年齢は72歳です。

### 高齢者によるボランティア活動

#### ★事例(江戸川シニアパソコン・ネットワーククラブ)

- パソコン関係の情報交換及び技術の向上、会員相互の親睦を深め、地域社会に貢献することを目的としたボランティア団体。
- 高齢者や障害者を対象としたパソコン教室を開催し、パソコンの基本操作からワードやエクセルの使い方、デジカメの活用術まで幅広いメニューを提供。

<設立年> 2000年  
 <会員数> 387人(H23. 11)  
 <平均年齢> 72歳(H23. 3)



### ○熟年者を中心に区民が主体となっている活動の事例

熟年者施策における協働の事例のなかで熟年者を中心に区民が主体となっている活動の事例として、2004年に江戸川区が立ち上げた総合人生大学があります。北野 大(まさる)氏が学長をしています。総合人生大学は、これから地域のボランティア、社会貢献をしようという方々のはじめの一歩の扉を開く生涯学習機関です。定年退職をしたら地域で何かをしたいと思っても、最初はきっかけづくりが難しいので、区民との協働の象徴として、江戸川区が取り組みました。この大学は、学習成果をボランティア活動として実践するところが特徴です。2年制でございまして、1学年100名、授業料は年間3万円です。

### 総合人生大学(2004年～)



- これまでの人生経験や知識を活用して、社会貢献を目指す高齢者などを応援する生涯学習機関。学習成果をボランティア活動として実践することが特徴。

<在校生数>  
 174名(平均年齢:62.5歳)  
 <卒業生数>  
 462名  
 <輩出ボランティア団体数>  
 42団体



この他、個人ボランティアも多数。【学長】北野 大

### 総合人生大学の授業の様子



地域の課題を発見するまち歩き



地域の課題の解決策を見出すワークショップ

また、「アダプト活動プログラム」というものもあります。江戸川区には、公園や樹木等がたくさんありますが、そういう公園や道路の樹木は自分たちの財産なのだから自分たちでちゃんと世話をしようという制度です。区内に450余りある公園の世話を全部公費で行うのは大変ですので、住民の皆様に清掃活動や花壇等世話をしたりしていただいています。

### アダプト活動プログラム(2004年～)

- 道路や公園、街路樹などの公共施設を自分たちの財産と考え、住民自らが清掃や手入れを行う活動。
- 区は機材の貸出しなどの側面的支援を行う。

<アダプト活動の登録者数(H22)>  
 7,530人(4ボランティア合計)



●公園ボランティア	4,098人(151団体)
●まちかどボランティア	1,183人(26団体)
●緑のボランティア	1,504人(37団体)
●水辺のボランティア	745人(27団体)